

2022年10月31日  
報道関係者各位

サスメド株式会社

国立精神・神経医療研究センターとサスメド、全世代対応型遠隔メンタルヘルスケアシステム(KOKOROBO-J)によるメンタルヘルスプラットフォームの開発・社会実装に関する取り組みを開始

サスメド株式会社（以下、「サスメド」）は、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターと「全世代対応型遠隔メンタルヘルスケアシステム(KOKOROBO-J)によるメンタルヘルスプラットフォームの開発・社会実装」に関する取り組みを開始しましたのでお知らせいたします。本取り組みは国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）の令和4年度「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」共創分野育成型（以下、本プロジェクト）として採択されております。

本プロジェクトは、複数の大学・企業・自治体が共同参画するもので、「継続的に」「いつでもどこでも誰でも」利用可能な、全世代対応型遠隔メンタルヘルスケアシステム（KOKOROBO-J）」として、いつでもどこでも誰でもアクセス可能なメンタルヘルスプラットフォームを開発・社会実装し、メンタルヘルスケアが当たり前の社会を醸成し、個々のライフステージを俯瞰したメンタル・ウェルビーイングの高い人生を実現し、健康寿命延伸を図ることを目的としています。

本プロジェクトにおいて、国立精神・神経医療研究センターとサスメドは、「KOKOROBO-Jによるメンタルヘルスプラットフォームの開発と全国実装」に取り組みます。国立精神・神経医療研究センターは2020年11月より、日本医療研究開発機構(AMED)の支援を受け、本プロジェクトの前身となる遠隔対応型の

メンタルヘルスケアシステム（KOKOROBO）を開発し、その効果検証を行ってきました。サスメドも本システムの開発において、機械学習を用いたリスク予測モデルの構築・評価に関与してきました。本取り組みを通して、個人が児童・思春期から成人期まで持続的にメンタルヘルスチェックとして利用可能かつ、個人のライフステージを俯瞰したライフコースの伴走ツールとして機能するシステムの全国実装が期待されます。

<サスメド株式会社について>

デジタル医療を推進する研究開発型企業であり、不眠症治療用アプリをはじめとする医療用アプリ開発に取り組んでいます。また、臨床試験の効率化に繋がるブロックチェーン技術や、データ分析の効率化やコスト低減が期待される AI 自動解析技術などの特許技術及び、電子カルテや疾患レジストリデータ等の医療ビッグデータの解析ノウハウを保有し、これらの技術を活用した臨床開発の支援を行う会社です。

URL : <https://www.susmed.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

サスメド株式会社

E-mail: [support@susmed.co.jp](mailto:support@susmed.co.jp)